

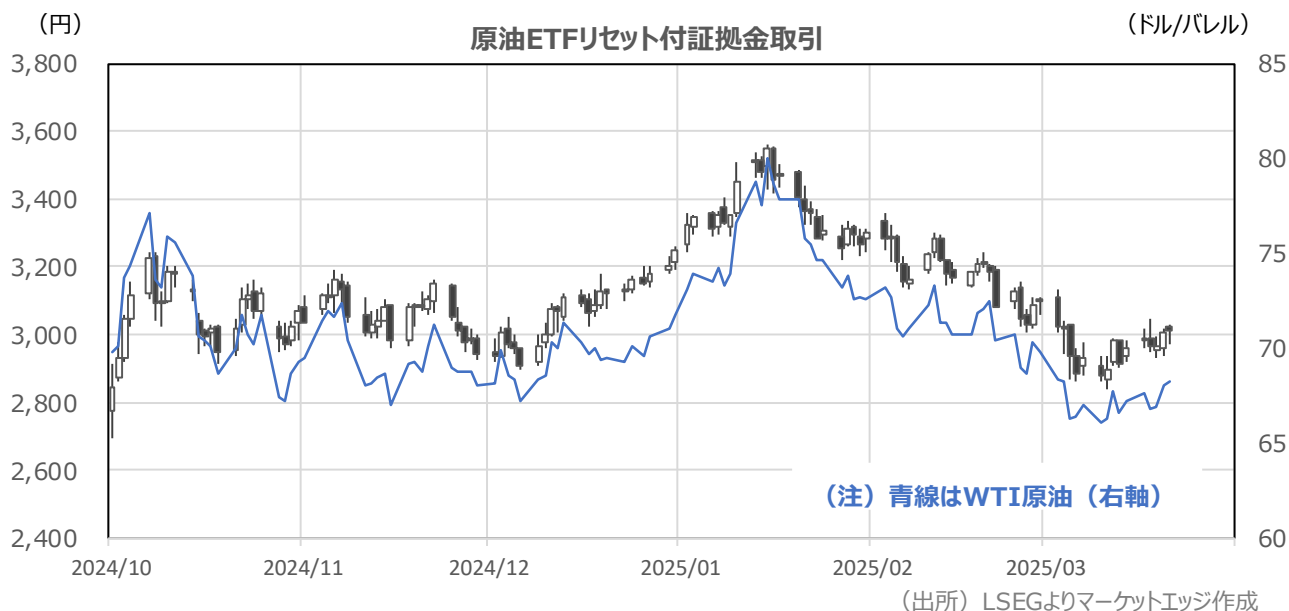
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/03/24号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



地政学リスクで小幅高に

NY原油先物相場は、1バレル=66.00～68.50ドル水準でやや底固く推移した。需給緩和見通しを背景に65ドルの節目を試す展開が続いていたが、中東地政学リスクの高まりを背景に、安値修正が促された。米軍がイエメン武装組織フーシ派に対する攻撃に踏み切ったことに加えて、イスラエルはガザ地区やシリアにおいて改めて大規模な軍事作戦を展開している。3月20日には米財務省が新たなイラン産原油に対する制裁を発動したこと、石油輸出国機構（OPEC）プラスが新たな減産計画を発表したこともあり、期近限月を中心に安値修正が促された。

OPECプラスは3月20日、自主減産の超過分（＝過剰生産分）を相殺するための新たな減産計画を発表した。イラク、カザフスタン、ロシアなど7カ国が、3月から来年6月まで生産調整を行うことになる。毎月、日量19.4万～43.5万バレルの範囲で追加生産調整がおこなわれることになる。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（3月14日時点）は、原油が前週比175万バレル増、ガソリンが53万バレル減、石油精製品が281万バレル減となった。

【展望】

中東地政学リスクで下げ一服、60ドル台後半での取引に

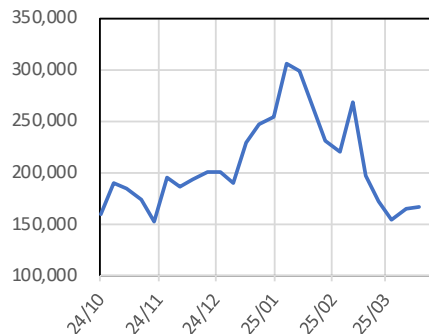
中東情勢の緊迫化を受けて、下げ一服となりやすい。イスラエルが改めてガザ地区のハマス、シリアのヒズボラに対する攻撃を強化している。停戦合意の第二段階に進むことができず、地域の地政学環境が急激に不安定化している。これだけであれば原油相場に対する影響は限定されるが、イランの核開発問題を巡って緊張感が高まっていることには注意が必要。

今週、米国とイスラエルはイランの核開発計画について戦略協議を行う予定になっている。米政府はイラン産原油に対する制裁対象を着実に広げているが、紅海におけるフーシ派の船舶攻撃についてもイランの責任を追及している。イスラエルがイラン核施設を攻撃するリスクも警戒される中、目先は大きく売り込みづらくなる。実際の原油供給障害がなければ戻り売り優勢の地合は崩れない見通しだが、中東情勢が過去1週間で大きく揺れ動いたことには注意が必要。一気に65ドルを割り込むリスクが後退している。

一方で、先高観の形成までは難しい。米財務省がイラン産原油に対する追加制裁に踏み切ったが、十分な効果を得られるのかは不透明感が強い。米財務省が初めて「ティーポット」と呼ばれる中国の独立系製油所に対する制裁に踏み切った影響は読みづらいが、「影の船団」に対する制裁と同様に、効果は限定されやすい。石油輸出国機構（OPEC）プラスが超過生産解消のための取り組みを開始したことはポジティブだが、供給過剰見通しに修正を迫るほどの規模ではない。

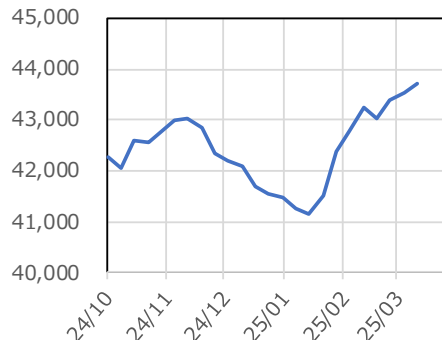
4月2日にはトランプ米政権の相互関税発動も予定されており、世界経済の先行き不透明感は強い。60ドル台後半で下げ一服ながらも伸び悩む展開を想定したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



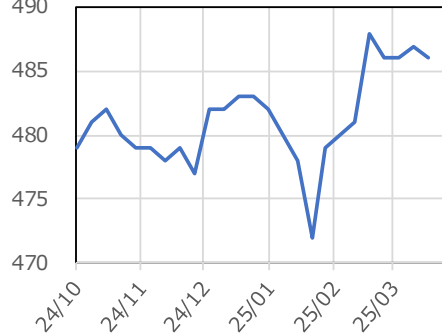
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

